

《履修上の留意事項》《遠隔授業のみ実施》

《担当者名》 齊籐恵一 西郷達雄

【概要】

大学におけるキャリア教育の目的は「学生の職業観や勤労観を涵養し、個々人の個性や適性に応じた職業を学生自ら選択できる能力の育成や学修意欲を高める（就職問題懇談会 平成28年度大学、短期大学及び高等専門学校卒業・修了予定者に係る就職について（申合せ）より）」ことにある。その端緒として、本授業では、様々な現場で働いている方々から職場・業務の概要や仕事の実際などについてお話を伺う。来ていただく方のほとんどは本学部の卒業生であり、その講話は受講生自身の将来を考える上で貴重な智見をもたらしてくれるであろう。

また、本授業では、R-CAPを実施する。これは、人間と職業との間の多様な関係について意識を向けるきっかけとなるであろう。

【学習目標】

- ・卒業後の進路を意識する。
- ・多様な進路があることを理解する。
- ・自分の個性や適性について意識を持つ。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	ガイダンス・広く開かれた進路 1	心理学における修士号および博士号取得者のその後の進路や就職状況および仕事の内容について学ぶ。博士号取得後の博士研究員（ポスドク）、技術職員、教員として実際に働いている専門家からの講話。	齊籐 恵一 西郷 達雄
2	広く開かれた進路 2	医療・発達領域の臨床心理士、札幌市および近郊都市の市職員、小売卸売り業・運輸業・情報通信業勤務の従業員、北海道警察官、福祉施設職員、司法公務員など、様々な分野で実際に働いている方々からの講話。	齊籐 恵一 特別講師
3	広く開かれた進路 3	医療・発達領域の臨床心理士、札幌市および近郊都市の市職員、小売卸売り業・運輸業・情報通信業勤務の従業員、北海道警察官、福祉施設職員、司法公務員など、様々な分野で実際に働いている方々からの講話。	齊籐 恵一 特別講師
4	広く開かれた進路 4	医療・発達領域の臨床心理士、札幌市および近郊都市の市職員、小売卸売り業・運輸業・情報通信業勤務の従業員、北海道警察官、福祉施設職員、司法公務員など、様々な分野で実際に働いている方々からの講話。	齊籐 恵一 特別講師
5	広く開かれた進路 5	医療・発達領域の臨床心理士、札幌市および近郊都市の市職員、小売卸売り業・運輸業・情報通信業勤務の従業員、北海道警察官、福祉施設職員、司法公務員など、様々な分野で実際に働いている方々からの講話。	齊籐恵一 特別講師
6	広く開かれた進路 6	医療・発達領域の臨床心理士、札幌市および近郊都市の市職員、小売卸売り業・運輸業・情報通信業勤務の従業員、北海道警察官、福祉施設職員、司法公務員など、様々な分野で実際に働いている方々からの講話。	齊籐 恵一 特別講師
7	広く開かれた進路 7	医療・発達領域の臨床心理士、札幌市および近郊都市の市職員、小売卸売り業・運輸業・情報通信業勤務の従業員、北海道警察官、福祉施設職員、司法公務員など、様々な分野で実際に働いている方々からの講話。	齊籐 恵一 特別講師
8	広く開かれた進路 8	医療・発達領域の臨床心理士、札幌市および近郊都市の市職員、小売卸売り業・運輸業・情報通信業勤務の従業員、北海道警察官、福祉施設職員、司法公務員など、様々な分野で実際に働いている方々からの講話。	齊籐 恵一 特別講師
9	広く開かれた進路 9	医療・発達領域の臨床心理士、札幌市および近郊都市の市職員、小売卸売り業・運輸業・情報通信業勤務の従業員、北海道警察官、福祉施設職員、司法公務員など、様々な分野で実際に働いている方々からの講話。	齊籐 恵一 特別講師

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
10	自己分析と適職	R-CAPの実施。	西郷 達雄 特別講師
11	進路支援	本学の就職支援体制について知り、他学部とは異なる本学部の特徴に応じた支援の枠組みについて理解する。	齊籐 恵一
12	広く開かれた進路10	医療・発達領域の臨床心理士、札幌市および近郊都市の市職員、小売卸売り業・運輸業・情報通信業勤務の従業員、北海道警察官、福祉施設職員、司法公務員など、様々な分野で実際に働いている方々からの講話。	齊籐 恵一 特別講師
13	キャリアについて考える	自分のキャリア形成について意識できるようにする。	西郷 達雄 特別講師
14	広く開かれた進路11	医療・発達領域の臨床心理士、札幌市および近郊都市の市職員、小売卸売り業・運輸業・情報通信業勤務の従業員、北海道警察官、福祉施設職員、司法公務員など、様々な分野で実際に働いている方々からの講話。	齊籐 恵一 特別講師
15	SPI	適性検査の模擬受験。	西郷 達雄 特別講師

【評価方法】

各回の小課題への取り組みに基づいて評価する。

R-CAPの結果は本授業の重要なフィードバックとなるので、結果レポート返却後もいつでも参照できるようにしておくこと。

【備考】

教科書 : 使用しない。

参考書 : 適宜、資料を配付する。

その他 : 各回の内容は関係者と調整を経て決定される。
確定し次第、掲示等で知らせるので注意すること。

【学習の準備】

事前準備として、講話に来られる方の業種や会社の情報を調べておくこと（30分程度）。

また、可能であれば事後学習として、講話の内容のうち、自分の希望する進路に関連することがらがないかを考えること（20分程度）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

心の問題を評価し援助するために修得した基礎的技能を社会に出て活かすための基本的な知識を教授する。